

真田丸

今だって、愛と勇気の旗をかかげていいんだ。



総合テレビ (日)午後8時

再放送(総合) (土)午後1時5分

BSプレミアム (日)午後6時

平成28年1月10日(日)スタート

出演: 堺雅人 大泉洋 長澤まさみ
内野聖陽 草刈正雄 ほか

作: 三谷幸喜 音楽: 服部隆之 題字: 挾土秀平



大河ドラマ

戦国時代最後の名将・真田幸村。その本名を、真田源次郎信繁という。好奇心にあふれ、冒険を好み、戦国の世を駆け抜けた真田信繁は、いつしか覇者・徳川家康をも恐れさせる伝説の武将となった。



真田幸村伝説には、もうひとつのストーリーがある。天才の父、秀才の兄の背を追いかけてながら、故郷に住む家族と共に乱世を生き延びていくために、迷い、悩み、苦しみながら成長していく、家族愛にあふれた次男坊・信繁の物語。

大坂の陣において真田信繁が、戦国時代最後にして最強の砦



「真田丸」を作り上げるまでの人生は、戦国の荒波にもまれ続けた小さな家族船「真田丸」での長い航海の道程でもあった。

“ただの人”が歴史の表舞台へ

真田信繁役 堺雅人

信繁は戦国武将ではありますが、戦場であまり槍を振るうこともなく裏方で生きていた人間です。それが、最後の1～2年で、すべての人たちの期待や希望、そして“時”に背中を押されて歴史の表舞台に出て行く。そこが面白いですね。

兄の信幸が信繁を表した「物事柔和忍辱」という言葉があります。優しくて怒りをあらわにすることがない。また口数も少なくにこにこして感情を表面に出さないといった意味ですが、心には何か秘めたものがあるということも表しています。この言葉は信繁を演じるうえで一つ大事なキーワードになると思っています。

三谷幸喜さんが本腰を入れて書く戦国時代、キャスト、スタッフが生き生きと作り上げている戦国時代を早く見ていただきたい気持ちでいっぱいです。



堺雅人

1973年、宮崎県出身。大学在学中の92年、劇団“東京オレンジ”を始める。以後、舞台、テレビ、映画で活躍。主な出演作品に、映画「武士の家計簿」「ツレがうつになりまして。」、舞台「エレファント・パニッシュ」「喪服の似合うエレクトラ」、テレビ「リーガル・ハイ」「半沢直樹」ほか。NHKでは連続テレビ小説「オードリー」「塚原ト伝」など多数。大河ドラマ出演は「新選組!」「篤姫」に続き3度目。三谷幸喜氏が脚本を担当した「新選組!」では副長・山南敬助を演じ、哀感あふれる演技と壮絶な切腹シーンが話題となった。

戦国時代最後の名将・真田幸村。

本名、真田源次郎信繁。

**その波乱万丈の生涯、勇気と愛に満ちた物語を
三谷幸喜がオリジナルで描く。**

希望に満ちた敗者の物語を

歴史を築いた人物より、歴史から取り残された「敗者」に興味があります。真田信繁の人生のクライマックスも、その生涯を閉じた大坂の陣でした。しかし彼自身は死を覚悟して大坂城に入ったのではなく、あくまで勝利を信じていたはずです。僕も「滅びの美学」は好きではないので、家康が敗れ信繁が勝ってしまうのではないかと期待してしまうような希望に満ちた前向きなドラマにしたいと思っています。

傍観者・信繁の目線で

信繁は人生の最後に活躍して歴史に名を残しましたが、生涯の95%は何をしていたのかわからない人です。僕なりに調べたことをつなぎ合わせた時、見えてきたのは信繁が常に歴史の傍観者だったということでした。最初は上杉、後に豊臣の人質となり、さまざまな出来事を観察していた。そこで彼が見たであろう事件や人々を信繁目線で丹念に描いていきます。戦国時代を追体験してください。

歴史的事件に隠れた壮絶な覇権争い

本能寺の変の直後、東では何が起きていたのか。これまでどうしても信長、秀吉、家康を中心に戦国時代を見ていたので、「天正壬午の乱」と呼ばれる、関東甲信越の覇権争いについては、勉強しないとわからないことばかりで、難しかったですね。しかし資料を読んでいると、こんなにすごいことがあったのか。早くみなさんにも教えてあげたいと思うことばかり。北条。上杉、徳川の三つ巴の戦いを、真田がさらに引っかけ回す、先が読めない歴史ドラマをお楽しみください。



三谷幸喜

大河ドラマの執筆は「新選組!」(2004年)以来、2度目。NHKでは他に、テレビ放送50周年記念ドラマ「川、いつか海へ」など。人形劇『新・三銃士』『シャーロック ホームズ』がある。

真田丸



人物相関図

真田家の人々

徳川家の人々

信濃・甲斐の人々

武田家最後の当主
武田勝頼
平 岳大

武田家重臣
出浦昌相
寺島進

信濃の国衆
室賀正武
西村雅彦

真田家重臣
高梨内記
中原丈雄

真田家重臣
佐助
藤井隆

信繁の祖母
とり
草笛光子

信繁の父
真田昌幸
草刈正雄

信繁の母
薫
高畑淳子

戦国大名
徳川家康
内野聖陽

家康の側室
阿茶局
斉藤由貴

徳川家重臣
本多忠勝
藤岡弘

徳川家重臣
本多正信
近藤正臣

信繁の幼なじみ
きり
長澤まさみ

真田家重臣
堀田作兵衛
藤本隆宏

信繁の初恋の相手
梅
黒木華

戦国武将
真田信繁
(通称・幸村)
堺雅人

信繁の姉
松
木村佳乃

信繁の兄
真田信幸
(信之)
大泉洋

信幸の正室
稲 (小松姫)
吉田羊



秀吉の正室
北政所
鈴木京香

戦国大名
豊臣秀吉
小日向文世

秀吉の側室
茶々(淀)
竹内結子

豊臣家重臣
加藤清正
新井浩文

豊臣家重臣
大谷吉継
片岡愛之助

茶人
千利休
桂文枝

秀吉の嫡男
豊臣秀頼
中川大志

秀吉のおい
豊臣秀次
新納慎也

豊臣家重臣
石田三成
山本耕史

豊臣家重臣
片桐且元
小林隆

豊臣家の人々

戦国大名
上杉景勝
遠藤憲一

戦国大名
北条氏政
高嶋政伸

織田家重臣
滝川一益
段田安則

真田家をとりまく人々

